

平成23年度
博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要

[採択時公表]

機関名	東京工業大学	機関番号	12608
1. 全体責任者 (学長)	(ふりがな) い が けんいち 氏名・職名 伊 賀 健 一 (東京工業大学長)		
2. プログラム責任者	(ふりがな) せ き ね み つ お 氏名・職名 関 根 光 雄 (大学院生命理工学研究科長)		
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) あ き や ま ゆ た か 氏名・職名 秋 山 泰 (大学院情報理工学研究科計算工学専攻教授)		
4. 申請類型	C <複合領域型(生命健康)>		
5.	プログラム名称	情報生命博士教育院	
	英語名称	Education Academy of Computational Life Sciences	
	副題	情報科学を使いこなせる生命健康イノベーションリーダーの養成	
6. 授与する博士学位分野・名称	博士(工学), 博士(理学), 博士(学術) ・ 情報生命博士教育課程		
7. 主要分科	(① 生物分子科学) (② 情報学) (③ 生物科学) ※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入		
8. 主要細目	(①) (②) (③) ※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入		
	生物分子科学, 生物物理学, 生体生命情報学, 構造生物化学, 細胞生物学		
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	大学院情報理工学研究科 計算工学専攻, 大学院生命理工学研究科 <u>生命情報専攻</u> , 大学院生命理工学研究科 分子生命科学専攻, 大学院生命理工学研究科 生体システム専攻, 大学院生命理工学研究科 生物プロセス専攻, 大学院生命理工学研究科 生体分子機能工学専攻, 大学院情報理工学研究科 数理・計算科学専攻, 大学院総合理工学研究科 知能システム科学専攻, 大学院総合理工学研究科 物理情報システム専攻		
10. 共同教育課程を構想している場合の共同実施機関名	該当なし		
11. 連合大学院として参画または構想する場合の共同実施機関名	該当なし		
12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)	該当なし		

(機関名: 東京工業大学 申請類型:複合領域型(生命健康) プログラム名称:情報生命博士教育院)

15. プログラム担当者		計 54名			※他の大学等と連携した取組(共同申請を含む)の場合:申請(基幹)大学に所属するプログラム担当者の割合 [72.2 %]	
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成24年度における役割)	
(プログラム責任者) 関根 光雄	セキネ ミツオ	61	大学院生命理工学研究所長・生命理工学研究所 分子生命科学専攻・教授	核酸医薬創成 理学博士	学位プログラム全体の統括 メンター部会部会長	
(プログラムコーディネーター) 秋山 泰	アキヤマ ユカ	49	大学院情報理工学研究所 計算工学専攻・教授	並列生物情報処理 工学博士	学位プログラム全体の実務的統括 評価資料作成WG委員、カリキュラム部会 委員	
徳永 万喜洋	トクナガ マチ	51	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・教授	1分子生物 理学博士	生命コーディネーター 国際コンテストWG委員長、評価資料作成 WG委員、カリキュラム部会委員	
山村 雅幸	ヤマムラ マサユキ	50	大学院総合理工学研究所 知能システム科学専攻・教授	システム生物学 工学博士	情報コーディネーター カリキュラム部会部会長、メンター部会 委員	
岩崎 博史	イワサキ ヒロシ	49	大学院生命理工学研究所 分子生命科学専攻・教授	DNA修復・遺伝病 医学博士	運営委員、国際連携部会部会長	
一瀬 宏	イチノセ ヒロシ	50	大学院生命理工学研究所 分子生命科学専攻・教授	脳神経医療 医学博士 理学博士	カリキュラム部会委員	
村上 聡	ムラカミ サトシ	43	大学院生命理工学研究所 分子生命科学専攻・教授	薬剤抽出機構 博士(理学)	国際連携部会委員	
梶原 将	カヅワラ ススム	46	大学院生命理工学研究所 分子生命科学専攻・准教授	抗真菌薬 理学博士	運営委員、キャリアパス形成・海外派遣 部会部会長	
岡田 典弘	オカダ ノリヒロ	63	大学院生命理工学研究所 生体システム専攻・教授	ゲノム進化 薬学博士	海外講師招聘WG委員	
田中 幹子	タナカ ミキコ	40	大学院生命理工学研究所 生体システム専攻・准教授	脊椎動物発生進化 博士(理学)	グループ型問題解決演習WG委員	
本郷 裕一	ホンゴウ ユウイチ	41	大学院生命理工学研究所 生体システム専攻・准教授	環境ゲノム 博士(理学)	国際連携部会委員	
工藤 明	クドウ アキラ	59	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・教授	組織再生 薬学博士	海外講師招聘WG委員長	
伊藤 武彦	イトウ タケヒコ	41	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・教授	ヒトゲノム 博士(理学)	運営委員、グループ型問題解決演習WG 委員長	
黒川 顕	クワカ ケン	42	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・教授	微生物メタゲノム 博士(薬学)	カリキュラム部会委員	
岸本 健雄	キシモト タケオ	63	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・教授	卵発生 理学博士	海外講師招聘WG委員	
山口 雄輝	ヤマグチ ユウキ	38	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・准教授	転写制御 博士(工学)	グループ型問題解決演習WG委員	
十川 久美子	トウカウ クミコ	59	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・准教授	免疫 博士(情報科学)	国際コンテストWG委員	
小島 英理	コジマ エイリ	49	大学院生命理工学研究所 生命情報専攻・准教授	生命情報センシ ング 工学博士	キャリアパス形成・海外派遣部会委員	
中村 聡	ナカムラ サトシ	56	大学院生命理工学研究所 生物プロセス専攻・教授	極限環境微生物 工学博士	運営委員 メンター部会委員	
三原 久和	ミハラ ヒロカズ	52	大学院生命理工学研究所 生物プロセス専攻・教授	ペプチド工学 理学博士	キャリアパス形成・海外派遣部会委員	
和地 正明	ワチ マサアキ	49	大学院生命理工学研究所 生物プロセス専攻・准教授	有用微生物 農学博士	グループ型問題解決演習WG委員	
蒲池 利章	カマチ トシアキ	43	大学院生命理工学研究所 生物プロセス専攻・准教授	光タンパク工学 博士(工学)	運営委員、カリキュラム部会副部会長	
廣田 順二	ヒロタ ジュンジ	43	大学院生命理工学研究所 生物プロセス専攻・准教授	分子神経生物学 博士(工学)	異文化コミュニケーションWG委員	
近藤 科江	コンドウ シナエ	53	大学院生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻・教授	がん予防 医学博士	運営委員、異文化コミュニケーションWG 委員長、カリキュラム部会委員	
櫻井 実	サクライ ミル	56	大学院生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻・教授	計算化学 工学博士	国際コンテストWG委員	
占部 弘和	ウラベ ヒロカズ	53	大学院生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻・教授	創薬化学 理学博士	海外講師招聘WG委員	
小林 雄一	コバヤシ ユウイチ	57	大学院生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻・教授	創薬合成 工学博士	メンター部会委員、グループ型問題解決 演習WG委員	
大隅 良典	オオソミ ヨシノリ	66	フロンティア研究機構・特任教授	オートファジー 理学博士	海外講師招聘WG委員	
米崎 直樹	ヨネザキ ナオキ	61	大学院情報理工学研究所 計算工学専攻・教授	情報モデル化 工学博士	運営委員 カリキュラム部会委員	
杉山 将	スギヤマ マサシ	36	大学院情報理工学研究所 計算工学専攻・准教授	機械学習 博士(工学)	異文化コミュニケーションWG委員、海外 講師招聘WG委員	
瀬々 潤	セセ ジュン	34	大学院情報理工学研究所 計算工学専攻・准教授	生命データマイ ニング 博士(科学)	運営委員、グループ型問題解決演習WG 委員、国際連携部会委員	

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

「情報生命博士教育院 ～ 情報科学を使いこなせる生命健康イノベーションリーダーの養成」 21 生命科学の一流の専門家でありながら最新の情報科学を道具として使える人材、または情報科学の一流の専門家でありながら生命科学の方法論と思考を理解する人材を養成

背景の異なる学生がチームを組んで様々な問題解決に挑戦

Quality of Life

IT

IT

“ ”

“ ”

生命科学と情報科学の両者を理解する力

Γ

“ π ”

“Γ（ガンマ）型人材”

自ら問題を発見し、大量の情報の中からその本質を見抜き、正しい決定をする力

“ ”
“ ”

優れた異文化コミュニケーション能力

TOEIC750

安易に中間的な人材を養

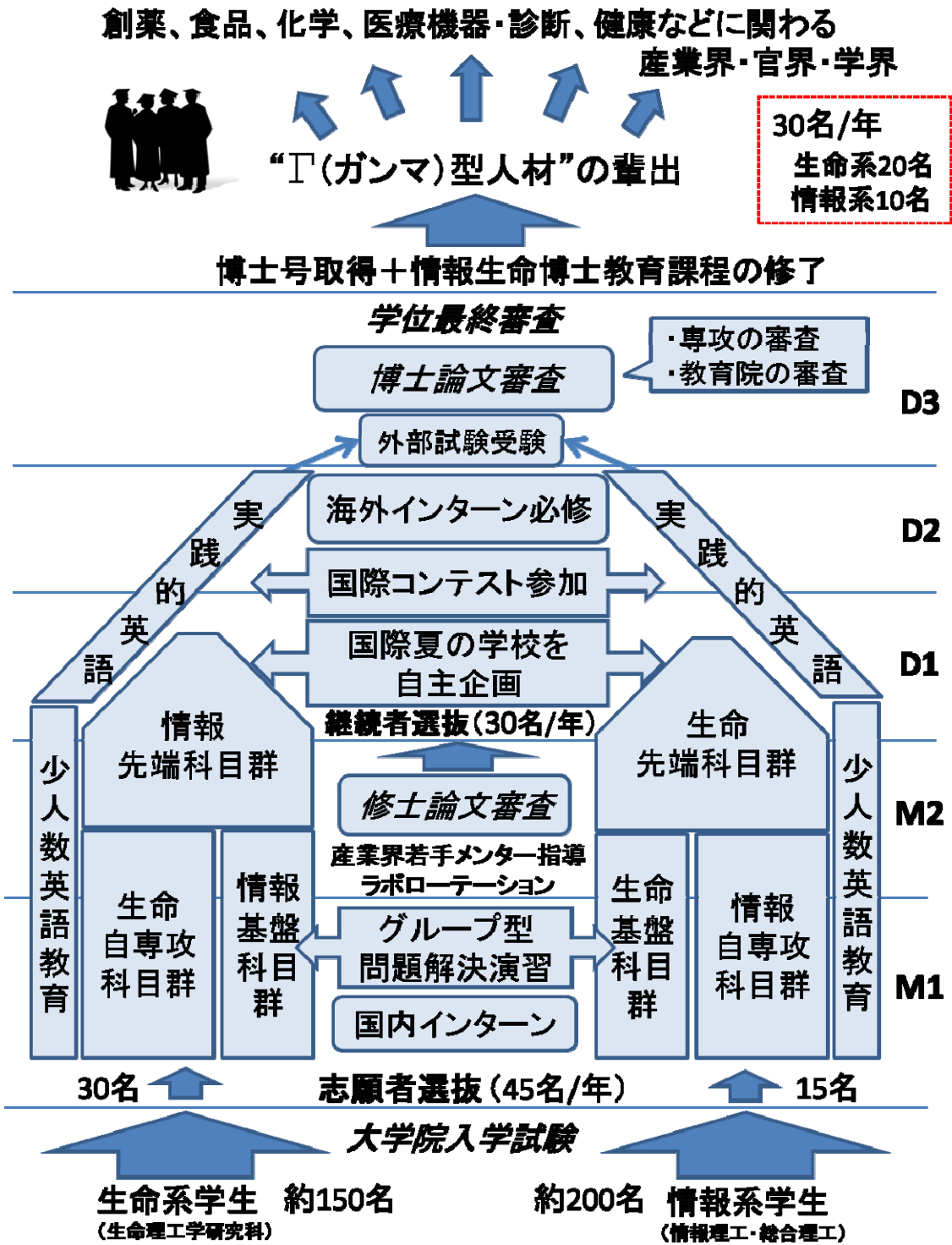
成するのではなく

“ Γ ”

生命健康に関わる広いライフサイエンスを対象

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)



複合領域でリーダーシップを発揮する“Γ(ガンマ)型人才”

機 関 名	東京工業大学
プログラム名称	情報生命博士教育院
2	